

4 令和8年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒の基礎学力を充実・定着させ、学科併置の特色をいかし、磨き合う学習活動の工夫・改善に取り組む。 ②国際化、6次産業化を視野に入れた教育課程の充実を図る。	①相互授業見学や校内研修等を継続し、授業改善の取組みを推進する。 ②専門性を生かした教育を発展させ、専門教科・科目の充実を進める。	①研修会や相互授業見学などを生かし、授業計画を充実・実践し、授業改善を進める。 ②生徒が主体的に課題に取り組む、専門性を生かし積極的に学ぶ授業作りに取り組む。	①第1回生徒による授業評価アンケートの結果を共有・活用することができたか。結果から授業の改善に繋がられたか。 ②専門科目等における評価の充実や課題研究発表会での発表が充実できたか。
2	生徒指導・支援	①生徒が安全・安心に学校生活を送るための指導を充実させ、生徒自らが主体的に行動し、新たな社会的課題に対応できる人材の育成を図る。 ②責任感や連帯感の醸成と達成感が得られるよう生徒主体の活動を充実させる。	①生徒の抱える不安や悩みが多様化している中、SC、SSWと情報を共有してより良い指導に繋げて、生徒が安心して生活できる環境を作り上げる。 ②各種生徒会活動において、生徒が主体的かつ積極的に活動できるように指導体制を構築する。	①生徒の困り感について、かながわサポートドックのアンケートと教員による観察から、SCとSSWに結び付けてカウンセリングを通して解決に向ける。 ②各種行事運営等で生徒間の連携及び生徒と担当職員との連携方法を再度検討する。内容の伝達方法の明確化と情報共有の体制構築を進める。	①かながわサポートドックのアンケートにおいて実施したSC、SSWによるプッシュ面談について、受診率（約15%）と受診の質が向上することができたか。 ②各種行事運営等で生徒間の連携及び生徒と担当職員との連携（伝達方法の定着）が図れてか。部活動の活性化（加入率）が改善されたか。
3	進路指導・支援	①社会の動向に柔軟に対応できる産業人として、産業構造の変化や社会のニーズ等に対応した人物育成を推進する。 ②キャリア教育の充実を図り、高い専門性を持つスペシャリストを育成する。	①生徒が地域や社会の一員として自覚を持ち、産業人として高い専門性を生かし、より良い社会の実現に貢献していこうとする意欲と資質を育む。 ②生徒が目標意識を持って主体的に進路活動に取り組めるよう、進路支援体制の充実を図る。	①高校での学びや経験を通して、生徒が社会人として必要な資質を自ら伸ばそうとする意欲を育むため、キャリア・パスポートの活用を推進する。 ②進路相談体制の拡充を図るとともに、教職員の進路指導に関する知識・スキルの向上を目標に校内研修を実施する。	①各学年の特性や学習活動の状況等に応じ、キャリア・パスポートを効果的に活用することができたか。 ①生徒に社会人として必要とされる基礎的なビジネスマナーが身に付いているか。 ②進路相談体制の拡充が図られたか。 ②実践的なキャリア教育研修を実施することができたか。

4	地域等との協働	<p>①農業科や商業科の専門教育活動について積極的に地域に広報し、PRするとともに、魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>②農業科、商業科それぞれの高い専門性の知識と技術をいかしつつ、社会に貢献することができる生徒を育成する。</p>	<p>①専門教育の持つ力を生かした地域貢献をとおり、本校の魅力を広く広報し、魅力ある学校づくりに取り組み。</p> <p>②地域貢献をとおりした教育活動に取り組み、魅力の発信とともに生徒の成長につながる活動とする。</p>	<p>①農業科・商業科のもつ専門的な知識や技術を生かし、地域の求めるニーズに応え、本校の魅力を積極的に発信していく。</p> <p>②生徒が主体となり、地域の求めるニーズに対応する能力を発揮することで、生徒自身の成長と本校の魅力発信につなげていく。</p>	<p>①地域からの要望に対し、専門性を生かすことで地域貢献をすることができたか。（依頼実績等）</p> <p>②地域のニーズや課題に対し、生徒主体となつて対応することができたか。またその取組が生徒の成長につながるものとなったか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①信頼と期待に応える学校づくりを推進するため、事故・不祥事防止を徹底し、教職員の意識醸成や校内環境及び組織体制の整備をする。</p> <p>②安心して快適な教育環境の整備のため、生徒と向き合う時間を確保するための教員の働き方改革の実現と、組織的・計画的な学校安全管理を推進する。</p>	<p>①事故、不祥事の未然防止を徹底するため、教職員のコンプライアンス意識の向上を図る。</p> <p>②校内環境および組織体制の点検、整備を行う。</p> <p>②避難訓練や緊急対応訓練を実施し、防災・防犯マニュアルの見直しと実効性の確認を行う。</p>	<p>①定期的な校内研修（事例共有・ヒヤリハット）を実施する。</p> <p>①チェックリストを用いた定期的な確認を実施し、職員個人の意識づけを図る。</p> <p>②業務の見直しや会議の効率化・精選、時間外勤務の可視化と縮減を行う。</p> <p>②避難訓練や緊急対応訓練を実施する。</p> <p>②校内の危険箇所の点検、改善を行う。</p>	<p>①コンプライアンス研修への職員参加率80%以上を目指し、事故・不祥事ゼロを達成できたか。</p> <p>②ICT活用や会議の精選および効率化等によって、業務削減を達成できたか。</p> <p>②生徒・職員の災害に対する意識を高め、安全な学校生活を送ることができたか。</p>